

法人（事業所）理念		「自分らしく生きるちからを育む」		
支援方針		・子どもたちが安心して心を解放できる場所であること ・子ども一人ひとりと向き合い、未来につながる体験・学びを提供すること ・”親子”をサポートすること ・地域とのかかわりを持てるようにすること		
営業時間		9 時 00 分から 15 時 00 分まで	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	トイレトレーニングでは来所持、手洗い場で手を洗うことから始めてトイレに慣れることからスタートします（トイレが4か所あるので細やかな対応が出来ます）。指導員は排泄のタイミングを把握することに務めて無理のない形でトレーニングを進めていきます。お弁当では食べられるものを普段より少なめの量で持参いただき“お友達と食べる楽しみ”の経験を重視します。その上で、離席しないで最後まで着席することやお弁当の準備や片付け、食具の使い方を支援していきます。送迎を敢えて行わず公共交通機関の利用を練習すること事も行います。駅から徒歩1分の立地なのでペアレントトレーニングを行い“保護者様とお子様が手をつないで歩く”事や（短い距離のため）“傘をさす”練習など生活に般化出来るようなサポートも行います。		
	運動・感覚	音楽療法や感覚統合の手法を元に、リトミックやサーキットなどを取り入れ、視覚・聴覚・触覚・前庭覚・固有核に働きかける療育プログラムを取り入れていきます。運動には「着座の持続」も取り入れ、園や小学校で離席無く座れるように個別に対応していきます。 （運動遊びは体の使い方、バランス感覚を向上させることにより、自己調整力が高まり、感情のコントロールや気持ちの理解につながります。）		
	認知・行動	お子様の出来ることを見つけて沢山ほめて認めることからアプローチします。実物や絵カードなど認知力に応じた教具の選択と「あとちょっとで達成出来る課題」を模索していきます。出来ていることから褒めて、自己肯定感を育んで自ら「頑張ってみよう」と思える関りを行っていきます。また、集団療育の強みとしては、お友達が褒められている場面を見る事で（正しい行動を）「真似てみよう」と思える機会を作っていきます。		
	言語 コミュニケーション	今の育ちを丁寧に聞き取りまずは出来ている行動（例えばお菓子が欲しいと大人の手を取る「クレーン」など）に着目し、声やアイコンタクトを促し要求から発語に繋がるようスモールステップで目標を立ててご家庭と連携して目標を立てていきます。 またお子様に対しては、全体への声掛けを聞く、自分の気持ちを伝えるなど、言語によるコミュニケーション力を集団療育の中で「実践」する機会をつくります。体験することによって、保育園や幼稚園で自ら行動出来るよう支援を行います。		
	人間関係 社会性	SSTを取り入れ集団での活動やお友達との適切な関りや自己の感情のコントロールを身に着けます。また、園や就学に向けた集団活動を行っていきます（園で行うルールのある遊び→だるまさんが転んだ・椅子取りゲームなど。）就学に向けては時間割の準備など「学校ごっこ」を取り入れます）。また、相手の話に耳を傾ける事や、物の貸し借りなどお友達と適切な関りが出来るよう、個々に合わせて段階を踏んだ関りを行っていきます。		
家族支援		毎回の様子をHUGを利用しお伝えすること、日々30分の保護者支援を行うことで丁寧にお子様の様子を伝えします。指導員はお困りごとや気持ちに傾聴する姿勢を取ることに努め、安心してお子様と関われるようペアレントトレーニングも行っていきます。	移行支援	ご希望に応じて通所している園に訪問を行います。巡回訪問の経験豊富な指導員が園に伺い、様子を観察し、園の先生方や保護者様と様子の共有を行い、療育に取り入れPDCAサイクルが出来るよう協力して関わっていきます。
地域支援・地域連携		園訪問・学校訪問・地域の集まりに積極的に参加し、地域に根差した療育を目指します。	職員の質の向上	職員研修やガイドラインに示された研修は勿論の事。日々朝礼と終礼を行いその日の情報を共有します。日々の療育の様子を共有し、必要があればカンファレンスを行い、職員全員でお子様ひとりひとりを把握できるよう話し合いを多くとるようにしています。また、入社研修後も研修動画を視聴し確認テストを行ってステップアップ出来るよう学びの場を作っています。
主な行事等		避難訓練などの防災訓練、引き取り訓練を行います。また、活動では季節の製作を行います。		